

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた行事開催の基本方針

令和2年2月26日

浄土宗企画調整室

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の国内での発生状況を踏まえ、本宗では健康と安全の確保、感染拡大の防止という観点から考慮し、以下のとおり対応することといたしました。関係各位におかれましては、ご参照のうえ、適切に対応いただきますよう、お願い申し上げます。

1. 本宗主催の研修会、講習会、講座、シンポジウム等の開催について

- ①本宗主催の研修会、講習会、講座、シンポジウム等の行事は、基本的に当面中止又は延期する。
- ②ただし、重要性が高く予定通り開催することと判断した行事は、アルコール消毒液の設置等の感染防止対策（※）や体調不良の方への参加自粛等の注意喚起を行い、綿密に協議のうえ適切に開催する。 ⇒開催する理由を明らかにすること。
- ③今後の感染の広がりや厚生労働省の通知等により適宜見直す可能性あり。

※感染拡大防止策

1. 手洗いの励行やアルコール消毒剤の利用など手指衛生の徹底
2. 咳エチケットの励行やマスクの着用など飛沫感染対策の徹底
3. 器具、機器の洗浄、消毒など標準的な感染予防策の徹底
4. 職員も含めた健康状態の把握の徹底

2. 本宗主催の各種委員会等の会議体開催について

- ①基本的に中止又は延期はしない。しかし、延期可能な会議については中止又は延期を検討する。 ⇒開催する理由を明らかにすること。
- ②開催する場合は、感染拡大防止策を取ったうえで、TV会議システムの積極的な活用をするなど、できる限り少人数で開催するよう努める。部屋の換気も積極的に行う。

3. 各教区、教化団、各種関係団体等の会議、研修会等の開催について

- ①2月21日付のファックスニュースにて、関係機関に感染拡大防止を注意喚起。
- ②開催については、本宗主催行事の対応を参考に、各々の事情を踏まえて検討のこと。
- ③今後の感染の広がりや厚生労働省の通知等により適宜見直す可能性あり。

4. 本宗職員の就業について

- ①2月21日付にて、総務部から全職員に「新型コロナウイルスへの対応」と題した通知を行っている。
- ②宗務庁で受付をする職員は、マスクの着用で対応する旨、案内板に掲示している。

以上